

## 会 議 記 録

高松市附属機関等の会議の公開及び委員の公募に関する指針の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会 議 名	令和5年度第1回高松市国際交流推進協議会
開催日時	令和5年6月13日(火)午後1時30分～2時30分
開催場所	110会議室
議 題	(1) 令和4年度 国際交流推進事業実施状況について (2) 令和5年度 国際交流推進事業について (3) その他について
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	
出席者	<委員> 原委員、時岡委員、平田委員、石原委員、オブリー委員、太良尾委員、畑委員 <市> 中川創造都市推進局長、次田文化・観光・スポーツ部長、平田都市交流室長、福本都市交流室長補佐、高木主査
傍聴者	1人    (定員 5名)
担当課及び連絡先	観光交流課 都市交流室 (Tel 839-2197)

### 審議経過及び審議結果

議題(1)について

事務局の説明内容が了承される。

議題(2)について

事務局の説明内容が了承される。

議題(3)について

- 11月9日に開催予定の記念式典ではレセプションも開催する予定か。
- 30周年記念の際には、トウール市側からの来賓があったため開催したが、今回はトウール市からの来賓は参加しないため、開催はしない方向で考えている。
- 委員の任期が11月末までということで、記念式典が集まる最後の機会になると思う。なるべく多くの委員に参加していただきたい。
- トウール市からの親善研修生が来高する際には、今年も歓迎夕食会の開催を計画しているので、そこでも皆様とお会いできればと思う。
- 牟礼エルバートン親善委員会の活動に関して、高校生の相互派遣交流は、新型コロナウ

ウイルス感染症の影響で3年間休止しているが、来年からの再開を目指している。昨年に40周年を迎え、本年11月にエルバートン市への記念訪問を1週間の予定で計画している。会員が200名ほどいるので、その中で希望者を募っている。航空券が非常に高いため、規模の小さい団体になると思うが、エルバートン市には4日間の滞在で計画している。その際には、市長やエルバートン市の親善委員会の方とアフターコロナの交流について協議をし、40周年を祝いたいと考えている。相互派遣事業が再開する際には御協力いただきたい。

○ 外国人対応に係る庁内連絡会議に関して、穴吹学園の日本語学科では、日本語のできない学生たちを受け入れている。日本に来ると最初に、市役所で在留カードを作ったり、銀行で通帳を作ったりというところから始まるが、外国人にとって市役所内で手続きをすることは非常にハードルが高いので、こうして意識を高めてもらえるのはありがたいと思う。

○ 7月1日にG7の応援イベントのフォーラムを開催する。150名で募集をかけているがなかなか人が集まらない状況だが、総領事も来てくださるのでぜひ参加していただきたい。フォーラム後には、プチパリ祭を開催予定で、G7を盛り上げるよう取り組んでいきたい。

○ 丸亀町商店街とパリのカプシーヌ通りが、今年、姉妹商店街提携を締結して35周年を迎えた。昔はあまり交流が頻繁に出来る状態ではなかったため、しばらく相互交流が途絶えていたが、交流を復活させようという動きがある。姉妹提携時はフランスからも訪問団が来ており、高松名誉市民にもなっている。そういうご縁を復活させて、商店街を盛り上げていきたいと考えているので、ご協力いただきたい。

○ 国際交流に関して市民がどれくらいに関心があるのか、以前PTAで話した際、国際交流活動をしていることを全く知らない人や、アイパルの存在を知らない人がほとんどだった。広報活動は難しいことだと思うが、まずは市民が知るところから活動が発展していくと思うので、市民に分かるような広報活動を考えていただきたい。

● 各種広報媒体やパネル展等を活用しているが、それだけでは限界があると思っている。今後、より効果的な方法を検討していきたい。記念式典には一般市民も公募する予定なので、市が国際交流活動を展開していることを知ってもらえる一つの機会としたいと考えている。

※ ○委員 ●事務局